アメリカ中央部 ★ Minnesota

メイヨークリニック研究留学

Mayo Clinic, Rochester
Department of Gastroenterology and Hepatology
佐野　晃俊
東北大学大学院医学系研究科消化器病態学分野

2024年の4月から米国ミネソタ州ロチェスター市のメイヨークリニックで研究留学しております。まずは、本留学に際して多大なるご支援をいただきました上原記念生命科学財団ならびに関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

メイヨークリニック本院（Rochester）は米国のベストホスピタル2025-2026で全米No.1に選ばれているような有名病院です。Rochesterは人口が10万人程度の小さな街ですので、ダウンタウンはメイヨークリニックの施設で埋め尽くされていると言っても過言ではありません。都市の規模にも関わらず、街中にはHiltonやMariottなどのきれいなホテルも散見され、コストコ（しかも空いてる）やトレーダージョーズもある、とても清潔で整った印象の街です。治安も非常に良いとの評判でしたが、最近は街南部の学校で銃の発砲事件があり、御存知の通り州都のミネアポリスでもICEによるアメリカ人への発砲があったりと、油断は出来ないと感じる今日このごろです。とはいえ住民の多くがメイヨー関連であり、他の地域に比べ明らかに皆さんが親切だと感じます。私は英語が全然できないのですが、ロチェスターの方々の親切のおかげで、地域のイベントなども楽しめています。気候的にも夏のロチェスターは、暑くはなりますが日本のような猛暑ではなく、湿度もあまり上がらず最高の季節です。四季もはっきりしており、秋の紅葉の時期も街全体が鮮やかに色づきます。冬はやはり寒いです。ただ、私は旭川医科大学出身なのですが、雪が少ない分、旭川よりは良いなと感じています。



←ミネソタ州は Land of 10,000 Lakes と知られています
これは最大のSuperior湖

研究面ではMASLD/MASH（旧NAFLD/NASH）の基礎研究をしています。日本でやっていたのと同じ領域でしたので、研究手法なども馴染みがあるものが多く、研究についていきやすかったのは幸いでした。その中でも多くの新しい手法や考え方を学ぶことが出来ております。施設にもよると思いますが、日本は個人プレーで研究が進むことも多いように感じていますが、こちらにきてチームでプロジェクトを進めることの難しさや大切さを多く学んでいます。幸いにも1つ論文をサブミット出来ましたので、上原記念生命科学財団のご支援に応えるためにも、期間内にRevisionも完成させて帰国できるように頑張りたいです。

週末は基本的に休みなので、プライベートも充実しています。一番のイベントは2人目の子どもが生まれたことでした。メイヨークリニックの迅速・親切な対応や、患者目線での病院も体験できたことはとても良い機会でした。幼稚園児と新生児と一緒のためアメリカらしいカートリップや国立公園巡りなどは出来ていませんが、それでもアメリカ各地や近郊の国への観光が出来て充実しています。ミネソタ州にはミシシッピ川の源流のあるItasca state parkを始め、自然豊かな州立公園が多数存在します。またミネソタ州とウィスコンシン州の間にはミシシッピ川が流れており、これに沿うように雰囲気の良い街が点在しており、これらを巡るのが週末の定番の過ごし方で気に入っています。何より、子どもの成長を間近で長い時間みることが出来ているのが、アメリカ留学で最も嬉しい点の一つで、家族の大切さを思い出させてもらえた貴重な機会でした。

最後に、改めて上原記念生命科学財団の皆様のご支援に心から御礼申し上げます。また、留学の機会を与えてくださった東北大学消化器内科の諸先生方、メンバーが足りない中快く送り出してくださった同肝臓グループの先生方に深く御礼を申し上げます。